

諏訪大社四社まわり

諏訪大社は諏訪湖の南北に上社（前宮・本宮）と下社（春宮・秋宮）の二社 四宮からなる。

延喜式神名帳には信濃國四十八座の第一に南方刀美神社と記され、当時既に信濃國一之宮として信仰されていたことがわかる。

「ご祭神は、『古事記』国譲り神話にゆかりの建御名方神・八坂刀売神・八重事代主神を祀っている。

古くから信濃國を開拓された力強さから武勇の神として信仰され、また水と風を司る農業や水産・海運業の守護神として知られている。

本殿を持たず自然（上社は神体山（守屋山）、下社は御神木（春宮は杉・秋宮は一位）」を御神体とする古い神社の形を残している。

南信



諏訪大社四社で御朱印を受けられた方に記念品をお渡ししています。



【上社 本宮】 剛直日武

鎮座 諏訪市中洲宮山一



現在の社殿は天保九年（一八三八）、立川流二代目立川和四郎富昌やその子富種を始め、地元の名工らによって建立された神社建築の傑作。

▼御朱印対応

午前八時半〜午後六時まで
本宮社務所にて受付

【上社 前宮】 剛直日武

鎮座 茅野市宮川二〇三〇



社殿前は神原（こうばら）と呼ばれるかつて祭祀の執行われた聖地。本殿は、昭和七年伊勢の神宮より賜った御用材を以て建立。

▼御朱印対応

午前九時〜午後四時まで
前宮社務所にて受付



諏訪大社四社まわり

【下社 春宮】 剛直日武

鎮座 諏訪郡下諏訪町一九三



御社殿は秋宮の立川流に対し、大隅流伊藤長左衛門の普請。両者は互いに競い合い、安永九年（一七八〇）秋宮より一年早く竣工。

▼御朱印対応

午前八時半〜午後六時まで
春宮社務所にて受付

【下社 秋宮】 剛直日武

鎮座 諏訪郡下諏訪町五八二八



御社殿は立川流初代富棟 二代富昌親子の共作。安永十年（一七八一）落成の拝殿・左右片拝殿と天保六年（一八三五）完成の神楽殿は秀作。

▼御朱印対応

午前八時半〜午後六時まで
秋宮社務所にて受付

